

里親-パートナーシップの中で 子どもを支える大切な役割

米国発祥QPI（クオリティ・ペアレンティング・イニシアチブ）は、里親・児童相談所・支援機関が連携し、子どもと実家庭を支援してパーマネンシーの実現を目指す取り組みです。この理念を日本に広めるため、考案者キャロル・シャウファー氏（Youth Law Center）を招き、新しい里親の役割を議論します。

日時 10/14(火) 13:30~17:30(13:00開場)

会場 日本財団ビル 2F大会議室

定員 100名 **参加費** 無料



キャロル・シャウファー氏
QPI考案者

プログラム

基調講演 : 「QPIについて」 キャロル・シャウファー氏（Youth Low Center）

教育講演 : 「アタッチメントの大切さ」 増沢高氏（子どもの虹情報研修センター）

シンポジウム

発表1 : 「児童相談所と里親のパートナーシップについて」

登壇者 齊藤正太氏（札幌市児童相談所）、岡村直亮氏（長野県庁こども・家庭課）

発表2 : 「これからの里親-パートナー・ファミリー」

登壇者 関貴教氏（茨城県里親会）、社会的養護当事者
三輪清子氏（明治学院大学）、谷優子氏（日本財団）

指定討論者 岩橋泉氏（全国里親会）

助言者 藤林武史氏（西日本こども研修センターあかし）
胡内敦司氏（子ども家庭庁支援局家庭福祉課）

司会 北川聡子氏（社会福祉法人麦の子会）

ミニワークショップ 堀浄信氏（光明童園）

お申し込み



10月9日締切

※後日アーカイブ配信あり
(要申込)